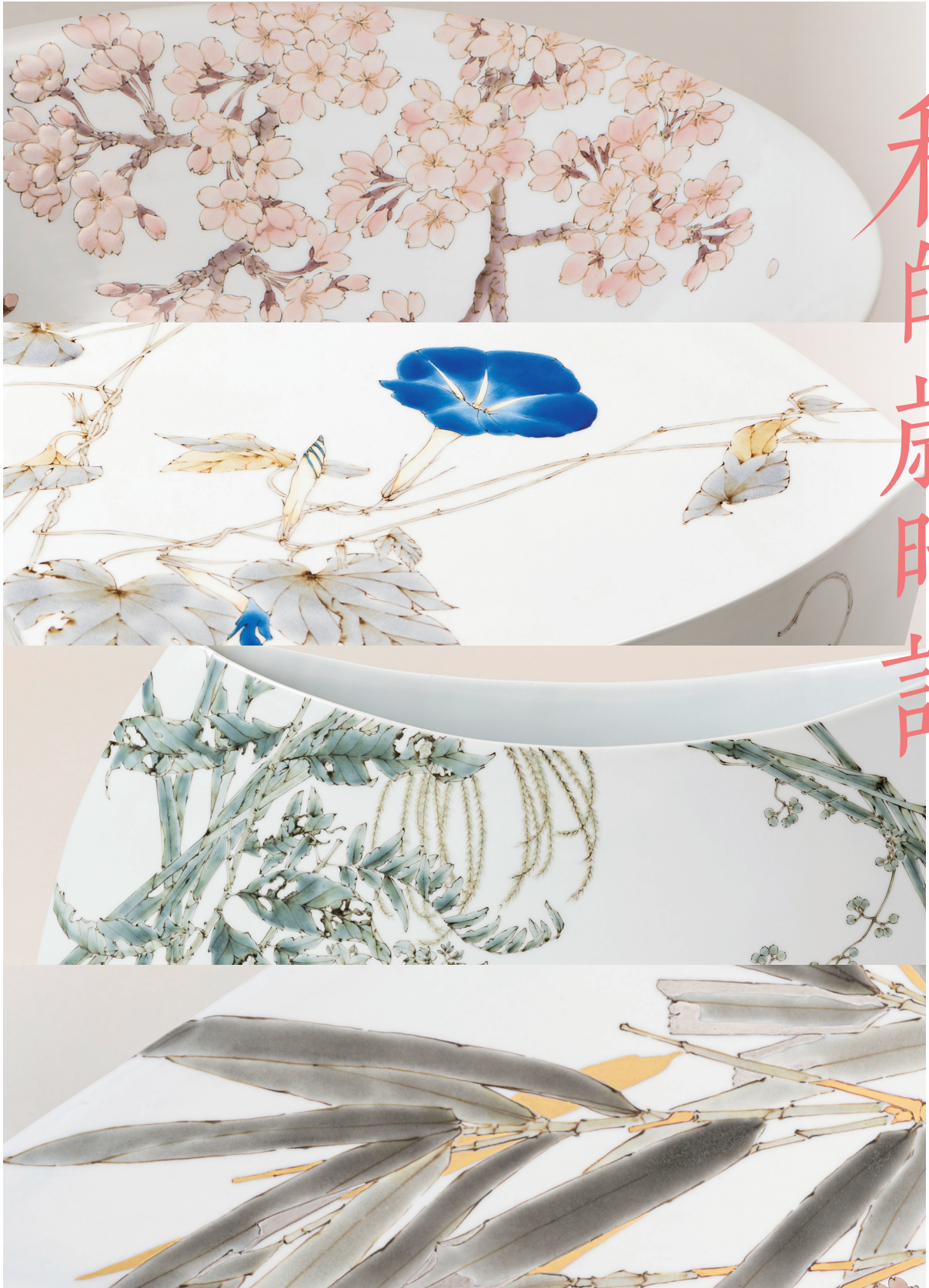


私的歳時記

移りゆくいのちの姿をありのままに



九谷色絵磁器 柴田有希佳 作陶展

2022年 4月17日(日) ~ 6月26日(日)まで ●入場無料

【開館日】水・木・土・日曜日 11:00~16:00 (入館は15:30まで) 【休館日】月・火・金曜日

【会場】緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10

【URL】<http://mam-museum.com> <お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880>



移りゆくいのちの姿をありのままに

私的歳時記

虫食い―散り際―

草花が朽ちてゆく儚さを、たおやかに描きだす。

九谷焼の次代を担う陶芸家・柴田有希佳の真髄は、写生。

四季の盛りを過ぎた植物たちの「生」をありのままに写し、

スケッチから磁器へ、五彩を基調とした中間色で描く。

九谷焼らしい鮮やかな色絵の世界とは異なる、

儚いがゆえに、いのちの温もりまで伝わる写実の色彩。

その姿を、柴田独自の麗しい余白が浮かび上がらせる。

師である山田義明氏から受け継ぐ九谷の技と、

自然へのまなざし。そこに映るのは、彼女自身の「生」であり

植物を描くことは自らを描き、生き方を教わること。

若き陶芸家の「生」を宿した色絵を慈しむ作陶展、

ぜひお楽しみください。



九谷色絵磁器 柴田有希佳 (しばたゆきか)

● 略歴 (プロフィール)

- 1984年 福井県福井市に生まれる
- 2006年 金城大学短期大学部美術学科研究科 修了
- 2008年 石川県立九谷焼技術研修所 卒業
卒業制作展においてパーマメントコレクションに認定 (永久保存として県が買い上げ)
山田義明氏に師事
第3回能美市美術展 北国新聞社賞 受賞
第23回北國女流美術展 佳作
- 2009年 第4回能美市美術展 北国新聞社賞 受賞
第24回北國女流美術展 次賞 受賞
- 2010年 第66回石川県現代美術展 佳作
第25回北國女流美術展 最高賞 受賞 以後、委嘱出品となる
- 2011年 第34回伝統九谷焼工芸展 新人賞 受賞
第45回女流陶芸展 T氏賞 受賞
- 2013年 第36回伝統九谷焼工芸展 奨励賞 受賞
受賞作品『世文長皿』石川県立美術館買い上げ
- 2014年 第37回伝統九谷焼工芸展 優秀賞 受賞
- 2015年 全国植樹祭
石川県立九谷焼技術研修所にて天皇・皇后両陛下の御天覧を賜る
第6回菊池ビエンナーレ 入選
- 2016年 第39回伝統九谷焼工芸展 優秀賞 受賞
第72回石川県現代美術展 佳作
- 2017年 第64回日本伝統工芸展 入選
- 2018年 第65回日本伝統工芸展 入選
- 2019年 第66回日本伝統工芸展 入選
第8回菊池ビエンナーレ 入選
石川県立九谷焼技術研修所にて文仁親王妃紀子殿下の御台覧を賜る
- 2021年 第44回伝統九谷焼工芸展 奨励賞 受賞
第61回石川の伝統工芸展 新人賞 受賞
第9回菊池ビエンナーレ 入選

● 作品収蔵

石川県立美術館・石川県立九谷焼技術研修所・緑ヶ丘美術館 (奈良県生駒市)



紫木蓮文扁壺

朝顔文台付三角皿



白蓮文扁壺

陶器 天河の舟

枯野図扁壺

九谷色絵磁器

柴田有希佳 作陶展

MAM
Midorigaoka Art Museum
緑ヶ丘美術館

交通アクセス

- 公共交通機関：〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。
生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス『中菜畑二丁目行き』乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。
- ※ 当美術館には駐車場はございません。

【会場住所】〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

